



介護に笑顔ニュース



「介護の日」電話相談に9件

認知症、介護職員の劣悪処遇…切実な苦悩寄せられる

11月11日の「介護の日」に合わせて、10日10～16時「介護・認知症なんでも電話相談」が行われ、ケアマネジャーやソーシャルワーカー11名が相談員とし、全道各地からの相談に応じました。

夫が認知症、施設入所を検討しているが費用が心配

認知症の夫を支えてきた妻からの電話。「入院を機に体力低下が著しく介護することが増えた。急に施設入所を検討せざるを得なくなった。申し込みはまだ一体どうしたらよいのか。道新を見て電話した。相談できてよかった」と今後に繋がる相談になりました。



勤医協北32条・後藤ケアマネ。かりぶ、柏ヶ丘からも



かりぶ・古賀ケアマネ、勤医協丘珠・久保ケアマネ

残業申請できず、16時間夜勤を

月9回…過酷すぎる現場

昼のニュース報道後には相談が急増しました。

TVを見て電話をくれた介護労働者は「残業申請ができず、サービス残業。月の夜勤は16時間2交替で月10回近くにもなり過酷」や「急に月の営業日を少なくしたデイサービス。それに伴って、正職員なのに賃金が低下し生活に苦慮している」と話しました。いずれの相談も職場には、労働組合がなく相談できる場所がありませんでした。一人でも入れる労働組合を紹介し、今後解決の道を探ることになりました。



UHB昼のニュース報道を契機に相談が急増した

明日は介護の日スピーチ&パレード 11:00～@札幌駅南口広場へ